

事業計画書

令和5年度
(2023年度)

社会福祉法人 清風会

事業計画書 目次

1. 法人基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 特別養護老人ホーム（従来型）
 - ◎計画・目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～4
 - ◎行事計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - ◎ベッド利用予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 短期入所事業（従来型）
 - ◎ベッド利用予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 特別養護老人ホーム（ユニット型）
 - ◎計画・目標、ベッド利用予測・・・・・・ 8
 - ◎行事計画表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
5. 津奈木町デイサービスセンター
 - ◎計画・目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - ◎行事計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - ◎利用予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
6. 調理栄養部、計画目標・・・・・・・・・・・・ 13
7. 介護福祉サービスセンター（居宅介護支援事業）
 - ◎計画、目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14～15
 - ◎プラン依頼者利用予測・・・・・・・・・・・・ 16
8. グループホーム
 - ◎計画、目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17～18
 - ◎行事計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - ◎ベッド利用予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～21
9. 各種施設運営管理計画、研修計画書・・・・ 22

[令和5年度事業計画]

社会福祉法人 清風会

【法人理念】

「地域福祉の拠点となって、その人がその人らしく生きるために、よろこび、やすらぎ、生きがいをお届けします」

【基本方針】

法人理念に基づき、各事業の健全な運営を図ります。

地域の社会資源としての自覚を持って多様なサービスを提供し、住み慣れた生活を続けるための支援を行うと共に、真の利用者ニーズの把握に努め、それに対応できる質の高いサービスを提供します。併せて、不足する福祉人材の確保に努め、その働きやすい職場環境を整備します。

また、災害時等のBCP体制を確立し、危機管理体制の強化を図ります。

【実施事業】

- * 特別養護老人ホーム（従来型） 定員35名
- * 特別養護老人ホーム（ユニット型） 定員30名
- * 短期入所生活介護事業・予防短期入所生活介護事業 定員11名
- * 通所介護事業・総合型日常生活支援事業 定員30名
- * 居宅介護支援事業 介護支援専門員3名
- * 認知症対応型共同生活介護事業 定員18名

※ 特養（従来型）と短期入所生活介護事業は一体的に事業を実施しています。

【設置委員会】

- 1.感染症対策委員会・・・感染症、食中毒対策に関する事
- 2.身体拘束適正化委員会・・・身体拘束の廃止に関する事
- 3.安全管理対策委員会・・・転倒等の事故防止に関する事
- 4.給食委員会・・・利用者の食事に関する事
- 5.環境美化委員会・・・施設内外の環境整備に関する事
- 6.広報委員会・・・広報誌の発行に関する事
- 7.地域貢献活動委員会・・・地域貢献活動に関する事
- 8.研修委員会・・・職員の研修計画に関する事
- 9.労働衛生委員会・・・職員の労働環境に関する事
- 10.医療的ケア委員会・・・喀痰吸引、経管栄養に関する事
- 11.入所検討委員会・・・入所判定及び待機者の調査に関する事
- 12.防災対策委員会・・・災害対策及びBCPに関する事

（生活相談員部門）

1. 新型コロナ感染対策として、面会の自粛や窓越し面会、各行事も中止せざるを得なかった令和4年度に対し、今年度は規制も緩和されることが見通せるため、家族との面会や生きがい活動の実施を実現するため、感染対策を講じながら以前の行事開催を出来る限り実施する。
2. サービスに従事する職員の資質、専門性を高めるため、外部研修会の参加（リモート）や職場内研修計画（書面）に沿った研修会を開催し、各事業所の取り組み状況の事例発表を引き続き実施する。
3. 入所判定委員会にて、申請者の健康状態、身体的状況、日常生活動作、家庭環境等を勘察し、定期的に入所待機者の実態把握に努める。

（介護支援専門員部門）

1. 施設サービス計画については、定期的にあセスメントを行い、それをもとにニーズを抽出し、日頃の関わりや担当者会議の中で入居者や家族の意向を組み入れ、支援目標を明確にしたケアプランを作成し、多職種と連携しながら目標達成できるように取り組む。支援実行後は、モニタリングを行い、入居者や家族の望まれる生活を提供できるように支援する。
2. 施設で最期を迎えたい入居者や家族が多いことから、家族へ看取りに関する説明を行いながら、入居者や家族の思い・望みを想定して、できる限り叶えられるようにし、看取り後にここで良かったと思われる支援計画を立てる。
3. 入居者の思いを引き出し、ひとつでも思いが実現できるような計画立案ができるように、介護職と情報を共有・連携しながら取り組む。
4. サービス計画実行に当たって、短期目標を一覧表にて作成・更新し、情報共有のために連絡ノートを活用し、介護職・看護職等が計画の内容を十分に把握できる環境にし、取り組みやすくする。

（看護職員部門）

1. 利用者の健康管理
 - ①健康状態の観察
 - イ) 毎日の検温及び居室の巡回で入居者の健康状態を観察する。
 - ロ) 多職種との連携により、統一した視点で日常の健康チェックを行う。
 - ハ) 異常の兆候を早期に発見し、嘱託医への連絡、指示を仰ぎ適切な処置を行う。
 - ②健康診断
定期健康診断、各種検査を行い、嘱託医との連携により適切な看護・医療へとつなげていき、健康状態を把握する。
 - ③健康の維持
個々の健康状態に適した運動、食事、休養の必要量を判断し、介護職員等と情報を共有しADLの維持に努める。
 - ④健康教育
 - イ) 健康についての正しい知識を普及し、老化と共存しながら穏やかな生活が送れるよう支援する。
 - ロ) 疾病予防の知識の普及に努める。
 - ⑤受診への対応
医療機関への受診の必要性については、早期受診ができるよう嘱託医との連携を強化し、介護職員の協力を得て計画的にスムーズな受診介助を行う。

2. 健康障害をもった入居者への対応

- ①疾病のある入居者への対応については、高齢化と共に疾病が増え、医療の必要性が高くなる中で、予防と早期発見、早期治療に努める。また、疾病の合併症の予防も図る。

3. 感染症のクラスター防止

コロナウイルス等の感染症の蔓延防止については、これまでの経験と新しい情報をもとに、全職員が健康管理の徹底と体調不良時の出勤等について、常時報告・連絡・相談ができる環境を作り、全職員が感染症の蔓延防止対策の知識を習得するよう努める。

4. 健康管理の実施計画

- ①検 温・・・1回/日
- ②血圧測定・・・月1回及び適時
- ③回 診・・・1週間に2回（月、金）
- ④体重測定・・・月1回（第2水曜日）
- ⑤健康診断・・・年1回（8月）
- ⑥脱水予防・・・水分補給（1日750ml～1500ml）
- ⑦感染防止・・・換気、カンファ水及びアルコールによる清掃消毒・噴霧、日光浴、必要時の隔離、手洗いの徹底及び手指消毒
- ⑧褥瘡予防・・・2時間毎の体位交換、離床、清潔保持、高カロリー食の補給
褥瘡判定スケール(DSIGN-R)を使用した褥瘡の予防と評価の実施
- ⑨食欲低下者・・・代替食の提供、栄養士との連携、高カロリー食の補給
- ⑩予防接種・・・インフルエンザ（希望者実施11～12月）
結核予防のツベルクリン反応判定（入所時）
肺炎球菌ワクチン（対象年齢者随時）
新型コロナウイルスワクチン
- ⑪医療的ケア・・・介護職員（有資格者）への喀痰吸引、経管栄養に関する指導

3. その他職員の健康管理

- ① 健康診断・・・全職員 8月 夜勤者及び宿直者 8、2月
- ② 腰痛検査・・・介護職員 8、2月
- ③ 予防接種・・・インフルエンザ（12月） 新型コロナウイルス(適時)

（介護職員部門）

介護理念

「自分が入居したいと思う施設づくり」

目標

利用者の笑顔が観れるような個別ケアに取り組む

計 画

- ① 利用者の立場に立ち、利用者及び家族の意見を尊重し、思いやりの心を持って接する。
- ② 認知症の症状を理解し、対応の在り方を検討し、周辺症状の緩和を図る。
- ③ 職員のスキルアップを図るため、2ヶ月に1回の勉強会を開催する。
- ④ 看取りケアにおいては、利用者及び家族の身体的、精神的な思いを受け止め、多職種と連携を図りながら、最期まで穏やかに過ごせるよう家族と共に支援する。
- ⑤ 職員間の良好なコミュニケーションにより、スムーズな業務遂行となるチームワークを形成し、多職種との連携を図る。
- ⑥ 家族との面会規制を緩和し、3月に1回のお便りで利用者の近況をお伝えするなど家族とのコミュニケーションを図り、信頼を築く。

[基本サービス]

- (1) 食事：利用者の嗜好や季節感を取り入れ、楽しみを感じられる食事を提供する。
 - ① 身体状況に合った食器や自助具を活用し、残存機能を活かして食事を摂るよう支援する。
 - ② 食事形態を月1回食事委員会で見直し、個々にあった食事形態で提供する。
 - ③ 視覚障害のある方には献立の説明を行い、器の位置を教えて食事がしやすいようにする。
 - ④ 誤薬の防止のために、薬のセット時や配膳、服薬時に名前の呼称確認を行う。また、同性の方がおられる場合、名前にラインを引き注意喚起を図り、配膳前と薬を手渡す時の名前の呼称を徹底し、薬の飲み忘れがないか下膳時にも確認する。
 - ⑤ 食事中の誤嚥・誤飲による事故がないよう見守り、また、誤嚥・誤飲が発生したら直ちに対処できる体制を整えておく。
- (2) 入浴：利用者に安全でゆったりとした空間を楽しんでいただけるよう、機械浴、リフト浴、一般浴それぞれに完全個別対応をする。また、身体状況に応じた入浴の種類を定期的に見直す。
 - ① 最低週2回の入浴の実施。本人の希望時と皮膚疾患がある方は週2回以上の入浴。
 - ② 更衣・入浴時に皮膚状態の観察の実施。
 - ③ 必要な方への塗り薬の塗布の実施。
 - ④ 入浴後の爪切りの実施。
 - ⑤ 入浴者の清拭の実施。
- (3) 排泄：排泄介助を受ける利用者の羞恥心に配慮し、安全で快適に配慮して、排泄ができるよう支援する。
 - ① 眠りスキャンや排泄チェック表を活用して、個々の排泄リズムを把握し、出来るところは自立を促しながら、トイレやポータブルトイレにて排泄できるよう支援する。
 - ② スクリーン、ひざ掛け、換気等プライバシーに配慮する。
 - ③ 看護職員との連携による排便コントロールを把握する。
- (4) 整容
 - ① 洗顔・・・起床時に声掛けを行い促しする。寝たきりの方や洗顔ができない方には、温タオルで顔拭きを行う
 - ② 口腔ケア・・・食後のうがい、歯磨き、義歯洗浄、クルリーナブラシ使用など、個人に合った口腔ケアの実施
 - ③ 散髪・・・月1回のボランティア来訪
 - ④ 更衣・・・朝食後、パジャマから日常着、夕食後パジャマへ着替えるなど本人の生活習慣を尊重する。
- (5) 処遇改善：利用者の願いや思いを日頃の会話や生活歴・趣味などから汲み取り、叶えられるような取り組みを行う。
 - ① 認知症の方の周辺症状の対応・対策について
行動・心理症状に対しては、ミーティングやケア会議などで検討・対策を考え、情報を共有することで周辺症状が緩和し、落ち着いた状態で毎日を穏やかに過ごせるようにする。
 - ② 勉強会の実施
2ヶ月に1回、一人30分程度担当職員2名を講師として勉強会を実施し、介護や医療、認知症など業務を遂行する上で必要な知識を全員で共有し、ケアの質の向上に取り組む。
 - ③ 利用者やご家族の何気ない一言や会話の中で、想いや願いを汲み取り、実現できることを探し、実行できるよう全職員で取り組む。
 - ④ 感染症対策等の面会対応については、周囲の感染状況を鑑み、適宜最適な面会方法で面会を実施する。

令和5年度 年間行事計画表 (特養)

月	行 事	備考・場所	
4月	花 見 故郷訪問	鯉ヶ崎 内野・芦北方面	<p style="text-align: center;">法人内各種委員会</p> ①労働衛生委員会 ②医療的ケア対策委員会 ③感染対策委員会 ④身体拘束適正化委員会 ⑤安全管理対策委員会 ⑦給食委員会 ⑧広報委員会 ⑨環境美化委員会 ⑩地域貢献活動委員会
5月	こいのぼり見学 バラ園見学 故郷訪問	水俣川 エコパーク 赤崎方面	
6月	運動会 故郷訪問	交流館 竹中方面	
7月	ソーメン流し 七夕飾り 故郷訪問	食堂 リハ室 平国・辻方面	
8月	ぶどう狩り 故郷訪問	山門ぶどう園 水俣方面	
9月	敬老会 コスモス見学 故郷訪問	交流館 中尾山 染竹・大泊方面	
10月	秋祭り バラ園見学 故郷訪問	駐車場 エコパーク 浜崎・小津奈木方面	
11月	ふれあい祭り見学 やきいも会 紅葉見学	BGグラウンド 施設内外 舞鶴公園他	
12月	忘年会&Xmas 門松作り 餅つき	施設内 玄関前 施設内・玄関	
1月	初詣 新年会 どんどや	八幡神社(水俣) 施設内 ユニット広場	
2月	節分	施設内	<p style="text-align: center;">特養委員会</p> 排泄委員会 入浴委員会 食事委員会 接遇委員会 接遇委員会
3月	ひな祭り 故郷訪問	リハ室 古中尾方面	
			ケア会議、介護計画書モニタリング (毎月25日、但し、土日祝日除)
			誕生会(毎月) 自然災害訓練(6月) 火災通報避難訓練 6月・11月(夜間想定) 通報訓練(3月)
			目 標
			入居者の"笑顔"が見れるケア

令和 5年度 特別養護老人ホーム(従来型)利用計画書(案)

特養定員 35 人			利用実人員 40 人						
【利用実人員】									
介護度別負担段階別需要予測	居室別	負担段階	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
	多床室	利用者	第1段階	0	0	0	1	0	1
			第2段階	0	1	2	4	4	11
			第3段階-①	0	0	3	5	2	10
			第3段階-②	0	0	0	6	2	8
			第4段階	0	0	0	1	1	2
	従来型個室	利用者	第1段階	0	0	0	0	0	0
			第2段階	0	0	1	1	1	3
			第3段階-①	0	0	0	1	0	1
			第3段階-②	0	0	0	0	0	0
			第4段階	0	1	2	0	1	4
	合計(人)			0	2	8	19	11	40

【延べ日数】									
介護度別負担段階別需要予測	居室別	負担段階	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
	多床室	利用者	第1段階	0	0	0	365	0	365
			第2段階	0	330	700	1,085	1,310	3,425
			第3段階-①	0	0	365	1,460	730	2,555
			第3段階-②	0	0	365	1,740	730	2,835
			第4段階	0	0	0	365	365	730
	従来型個室	利用者	第1段階	0	0	0	0	0	0
			第2段階	0	0	365	365	365	1,095
			第3段階-①	0	0	0	150	0	150
			第3段階-②	0	0	0	0	0	0
			第4段階	0	330	730	0	365	1,425
	合計(日)			0	660	2,525	5,530	3,865	12,580
	稼働率			稼働率: 98.5%					

食事提供 年間延べ提供日	負担段階	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	第1段階	0	0	0	360	0	360
	第2段階	0	330	1,060	1,450	1,670	4,510
	第3段階-①	0	0	360	1,610	730	2,700
	第3段階-②	0	0	360	1,740	730	2,830
	第4段階	0	330	730	360	730	2,150
合計(日)		0	660	2,510	5,520	3,860	12,550

貴重品管理者	35 人/月
--------	--------

テレビ使用者	4 人/月
--------	-------

冷蔵庫使用者	0 人/月
--------	-------

令和 5年度 ショートステイ利用計画書(案)

定員 11 人				利用実人員 38 人						
介護 度別 負担 段階 別 需要 予測	【利用実人員】									
	居室別	負担段階	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	多床室 利用者	第1段階			0	0	0	0	0	0
		第2段階			1	0	1	0	0	2
		第3段階①			0	1	1	0	1	3
		第3段階②			0	1	1	0	1	3
	従来型個室 利用者	第4段階			1	5	1	0	0	7
		第1段階			0	0	0	0	0	0
		第2段階			0	1	0	0	0	1
		第3段階①			0	1	0	0	0	1
	利用者	第3段階②			0	2	2	0	2	6
		第4段階			2	9	2	1	1	15
		合計(人)			4	20	8	1	5	38
	【延べ日数】									
	居室別	負担段階	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
多床室 利用者	第1段階			0	0	0	0	0	0	
	第2段階			10	0	10	0	0	20	
	第3段階①			0	100	80	0	315	495	
	第3段階②			0	50	170	0	75	295	
従来型個室 利用者	第4段階			10	350	40	0	0	400	
	第1段階			0	0	0	0	0	0	
	第2段階			0	250	0	0	0	250	
	第3段階①			0	70	0	0	0	70	
利用者	第3段階②			0	160	180	0	80	420	
	第4段階			130	650	60	110	110	1,060	
	合計(日)			150	1,630	540	110	580	3,010	
								稼働率 75 %		

食事提供 年間延べ提供日	負担段階	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
	第1段階	朝			0	0	0	0	0	0
		昼			0	0	0	0	0	0
		夕			0	0	0	0	0	0
	第2段階	朝			8	194	8	0	0	210
		昼			10	250	10	0	0	270
		夕			8	249	8	0	0	265
	第3段階	朝			0	190	320	0	370	880
		昼			0	380	420	0	470	1,270
		夕			0	350	420	0	460	1,230
	第4段階	朝			8	857	40	90	70	1,065
		昼			10	970	100	110	110	1,300
		夕			8	937	85	95	40	1,165
	合計(日)									7,655

食数	朝食	昼食	夕食	合計
	2,155	2,840	2,660	7,655

送迎延べ回数	910回
--------	------

[理念] 『自分らしい自由な生活が出来る我が家(よらんかな)』

[基本方針] 入居者と家族に信頼していただけるような介護サービスの提供に努め、安心して 楽しく暮らしていただけるように笑顔で支援する。

計 画 [介護者の役割]

- 一人ひとりの好みに合わせた温度、量、形態や時間の希望に対応する。
食べる楽しみを感じていただけるよう懐かしい献立や食材を提供する。
- 一人ひとりの好みに合わせたお湯の温度、時間帯に入浴できるように努め、清潔保持だけでなく、癒しの目的でマンツーマンでの介助を行う。
- 利用者の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行うとともに、プライバシーの保護を徹底する。
- 入居者の生活歴やコミュニケーションを通じて『想い』に寄り添い、その方が望む『今』『瞬間』を大事にする。
- 居室の清掃、整理・整頓に努めながら、家族の協力を得て、その人らしい居室環境を整える。

[質の向上]

- 毎月各ユニットのミーティングを開催し、ケアプランのモニタリング、評価によるプランの理解と周知を徹底し、統一したケアを提供する。その他日中や夜間の状態について情報交換を行い、ケア方法の検討を随時行う。
- 定期的に他のユニットの日勤勤務を交代で行い、他のユニットや職員の介護技術や介護への考え方などを学ぶ。

特別養護老人ホーム(よらんかな) 利用計画

ユニット定員 30人		利用実人員 32人					
利用実人員							
測 別 度 別 要 負 担	負担段階	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	第1段階						
	第2段階		1	2	2	7	12
	第3段階①			1	3	2	6
	第3段階②				4	1	5
	第4段階		1	1	4	3	9
合計			2	4	13	13	32

延べ日数							
測 別 度 別 要 負 担	負担段階	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	第1段階						
	第2段階		366	732	732	2,532	4,362
	第3段階①			366	717	682	1,765
	第3段階②				1,053	346	1,399
	第4段階		366	351	1,444	1,068	3,229
合計			732	1,449	3,946	4,628	10,755
		稼働率 97.9 %					

食 事 提 供 年 間 延 べ 提 供 日 数	負担段階	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	第1段階						
	第2段階		366	727	732	2,502	4,327
	第3段階①			366	707	632	1,705
	第3段階②				1,053	343	1,396
	第4段階		366	346	1,444	1,068	3,224
合計			732	1,439	3,936	4,545	10,652

貴重品管理者	29人/月
テレビ使用者	11人/月
冷蔵庫使用者	3人/月

令和5年度ユニット行事計画

	月	行事	場所
1	4月	花見	町内・水俣ドライブ
2	〃	バーベキュー	東・西町中庭ウッドデッキ
3	5月	つつじ見学	芦北町ドライブ
4	〃	故郷訪問	水俣・津奈木・芦北
5	6月	あじさい見学	水俣・芦北ドライブ
6	〃	運動会	地域交流館
7	7月	七夕・屋台	中庭ウッドデッキ周辺
8	8月	そうめん流し	地域交流館
9	9月	敬老会	南町（地域交流館）
10	〃	おはぎ作り	各町
11	〃	花火大会	南町駐車場
12	10月	故郷訪問	水俣・芦北
13	〃	バーベキュー	中庭ウッドデッキ
14	11月	焼き芋茶話会	中庭ウッドデッキ
15	〃	紅葉見学	舞鶴公園
16	〃	たまねぎ作り	東町畑
17	12月	誕生&Xmas会	各町
18	〃	門松作り	南町玄関
19	〃	餅つき	特養玄関
20	1月	よらんかな神社お参り	廊下・鳥居、おみくじ設置
21	〃	新年会	各町
22	〃	どんどや	南町畑
23	2月	節分	各町
24	〃	梅を見ながら焼き芋茶話会	各町
25	3月	ひな祭り	各町
26	〃	おはぎ作り	各町
27	〃	故郷訪問	水俣・津奈木・芦北

その他

- ・毎月第4水日曜日午後より誕生会
- ・月1～2回散髪ボランティア「ガーデン」様
- ・各町スタッフミーティング 月1回

実習受け入れ

- ・芦北高校（2年生基礎介護実習）3名
（3年生形態別介護実習）3名

※新型コロナウイルスにより一部

令和5年度事業計画

津奈木町デイサービスセンター あけぼの苑

【 デイサービス理念 】

- I、 私たちは、利用者様本位のサービスを心掛けます。
- II、 利用者様一人一人の気持ちを尊重し、その人に合ったケアをします。
- III、 家族との連絡を密にし、家族の負担軽減を図ります。

介護保険部門

1、 目的

要介護状態にある高齢者を対象に、食事・入浴・機能訓練・日常生活指導等の各種サービスを提供する事によって、自立生活の助長・社会的孤立感の解消・心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

2、 目標

- (1) 利用者様の馴染みの関係作りや生きがいを高める活動の推進。
- (2) 通所介護計画に応じた個別ケアの実施。
- (3) ご家族、医療機関、行政、地域、居宅介護支援事業所との密な連携。

3、 計画

- (1) 令和5年度行事計画に基づき、生きがいの向上を図ります。
- (2) 利用者様の自立した日常生活が営むことが出来る様、入浴・食事・趣味活動等を通じ、楽しみながら機能回復訓練を継続して行います。
- (3) 在宅福祉サービスの充実を図る為に、行政・社協・医療機関・その他サービス事業者との情報交換を行うと共に、総合的なケアを目指します。
- (4) 利用者様の心身の状態に応じて通所介護計画を見直し、個別的なケアを実施していきます。

総合事業部門

1、 目的

要支援状態にある高齢者を対象とし、自立した日常生活が継続できるように必要な支援及び運動器機能訓練を行う事で、心身機能の維持回復・日常生活における意欲の向上を図る。

2、 目標

- (1) ご家族・行政・医療機関など、多職種との連携を図り、情報を共有しケアの向上に努めます。
- (2) 運動器の機能向上を図ることで、できるだけ自立した在宅生活維持に努めます。
- (3) 個別ケアにて各々の心身に合った機能訓練を行います。

3、 計画

- (1) 地域包括支援センターを中心とし、他職種でのサービス担当者会議に於いて情報交換を行います。
- (2) 運動器機能訓練を行い、また在宅での運動指導を行います。
- (3) 趣味、活動を通じ楽しみながら継続する事で、機能の維持回復に繋がります。

令和5年度 目標

- 1、 要支援、要介護支援とさらなる物忘れ、認知症予防対策活動。
- 2、 運動器機能体操の継続により、ADL維持、向上。
- 3、 社会資源の活用と趣味、生きがい活動の推進により生活意欲の向上。

令和5年度 通所介護事業利用予測(総合事業含む)

【利用実人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	12	12	12	11	11	10	9	9	9	9	9	8	121
要支援2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	3	23
合計	14	14	14	12	12	12	11	11	11	11	11	11	144
要介護1	22	22	21	23	22	21	21	22	20	20	18	19	251
要介護2	25	25	26	26	28	29	29	30	29	29	30	28	334
要介護3	4	4	4	4	3	3	3	2	3	3	3	3	39
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
要介護5	2	2	1	2	1	1	2	1	0	0	0	0	12
合計	55	55	54	57	56	56	57	56	53	53	52	51	655

【利用延べ人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	48	48	45	42	40	32	28	28	30	32	30	26	429
要支援2	10	10	8	8	8	12	12	10	12	16	12	18	136
合計	58	58	53	50	48	44	40	38	42	48	42	44	565
要介護1	209	210	206	219	207	199	207	201	210	202	196	196	2,462
要介護2	262	262	266	256	276	274	278	280	274	268	264	270	3,230
要介護3	40	38	38	42	34	34	36	28	36	34	32	34	426
要介護4	18	16	18	18	14	14	14	14	10	12	10	10	168
要介護5	4	6	4	4	4	4	6	4	0	0	0	0	36
合計	533	532	532	539	535	525	541	527	530	516	502	510	6322
入浴介助者 (介護保険者)	464	445	456	450	446	458	452	437	442	448	432	431	5,361
延べ利用人数	591	590	585	589	583	569	581	565	572	564	544	554	6,887
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	23	25	26	308

令和5年度 行事計画

津奈木町デイサービスセンター あげぼの苑

4月	5月	6月	7月	8月	9月
花見	バラ園見学 (水俣) デザートバイキング (月・火)	運動器機能測定 防災総合訓練 (火災)	ソーメン流し (寒川水源亭)	レクリエーション活動 デザートバイキング (水、木)	ぶどう狩り (山門ぶどう園) 敬老会 運動器機能測定
10月	11月	12月	1月	2月	3月
コスモス見学 (中尾山) あげぼの苑秋祭	津奈木小学習発表会 デザートバイキング (金・土) 防災総合訓練 (火災)	運動器機能測定 クリスマス&忘年会	初詣 (水俣八幡神社) 新年会	鶴見学 (出水) 津奈木保育園訪問 (お遊戯)	デザートバイキング 運動器機能測定
誕生会	各種室内ゲーム カレンダー作成	菜園クラブ			

令和5年度 事業計画

あけぼの苑
調理・栄養

〈目標〉

健康維持・増進、疾病予防のほかに、過剰摂取による健康障害を予防し、活力ある生活を送るため利用者に食の楽しみを提供する。また、個々人に合った食事の提供を行い、個別対応として更に充実した食事サービスに努める。

〈継続事業〉

1. 栄養ケアの実施

関連職種との連携、調整を行い、個々人に最適な栄養ケアを行うため、栄養ケアマネジメントを実施する。

検査結果の他、定期的に体重測定を実施し、体重の推移観察を行い、栄養状態の把握を行う。また、嚥食状況の観察を行い、食事形態や食事量の調整、食器の選択等を多職種で協議し、利用者に合わせた食事の提供を行う。

2. 経口維持への取り組み

認知機能や摂食嚥下機能の低下により、経口摂取が困難となっても自分の口から食べる楽しみを得られるように多職種による支援の充実を図る。

3. 行事食・イベント食の実施

旬の食材を使用し、行事等を考慮しながら献立作成を行い、変化に富んだ季節感のある食事の提供を行う。また、日々の食事に変化をもたせ利用者に食の楽しみを提供するため、デザートバイキングや駅弁などのイベント食を定期的に行っていく。

4. 衛生、安全管理の徹底

検便・健康診断・水質検査・保存食管理・温度管理・衛生点検等の実施

5. 非常災害時の対応

自然災害等により通常の食事提供が困難となった場合に備え、マニュアル作成を行い食事の提供がスムーズに行えるよう努める。

また、備蓄食品、備品等の管理を行い、不足分は補充する。

令和5年度
あけぼの苑介護福祉サービスセンター 事業計画

【理念】

「その人らしさを引き出し、住み慣れた地域の中で、

安全に安心して在宅生活を送れるよう支援する」

- ・利用者の基本的人権を擁護し、その有する能力に応じて利用者本位の立場から支援していく。
- ・チームの中で、一緒に考え、一緒に行動し、言葉があり、様々な情報を共有し、お互いが安心できる存在となる。
- ・地域全体が一つの家族となるように働きかける。

【事業の目的】

事業所の介護支援専門員が、要介護状態又は要支援状態にある利用者に対してその有する能力に応じて、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう適正な居宅介護支援を提供することを目的とします。

【事業の方針】

- (1) 事業所の介護支援専門員は、要介護者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ可能な限り自立した生活を営むことができるように配慮して居宅介護支援に努めます。
- (2) 利用者の心身状況やその環境等に応じて利用者及び家族の意向を尊重し、適切な介護サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、迅速な対応を行います。
- (3) 利用者の意思及び人格を尊重し、特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏ることのないよう公正中立に行います。
- (4) 関係市町村、居宅介護事業所、居宅サービス事業者、介護保険施設、医療機関等との連携に努めます。

【事業内容】

①要介護・要支援認定に関する業務

- ・新規及び更新申請代行

②居宅サービス計画作成など介護サービスに関する業務

- ・自宅訪問：本人、家族との面談
- ・アセスメント：利用者の心身の状態や生活状況、利用者と家族の希望などの情報収集
- ・ケアプラン作成：目標設定と具体的な支援のサービス計画の原案作成
- ・サービス担当者会議：利用者の意向や課題を共有する
- ・モニタリング：定期的に自宅訪問し、サービスの実施状況や利用者のニーズの変化を確認する
- ・居宅介護支援の提供に関する記録

③給付管理

④適切な福祉用具の選定等

⑤住宅改修

⑥その他

- ・感染症対策の強化や、感染症や災害が発生した場合の業務継続に向けた取組の強化（BCPの作成）
- ・医療機関との情報連携の強化
- ・看取り期における本人の意思を尊重したケアの充実や、サービス利用前の相談・調整等
- ・退院・退所等のカンファレンスにおける福祉用具専門相談員の参画促進

- 生活援助の訪問回数の多い利用者等のケアプランの検証
- 認知症に係る取組の情報公表の推進
- 高齢者虐待防止
- 地域の関係機関や多職種とのネットワーク構築
地域ケア会議 津奈木ケアマネ会 主任介護支援専門員会議 居宅部会
- 資質向上のための研修会や講習会への参加

令和5年度 居宅介護支援事業利用予測

◎月別給付管理数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
要介護1	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	516
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護者合計(人)	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	1,020
初回加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎予防給付者数

要支援1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援者数合計(人)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
初回加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和5年度事業計画

グループホーム あけぼの

【基本方針】

認知症によって自立した生活が困難になられた方を対象に、共同生活住居において、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、個々の有する残存能力に応じ、日常生活上の世話及び自立した日常生活が営まれるように支援する。

《グループホーム理念》

あなたの思いを大切に受け止め、自由を束縛することなく
安全でやすらぎのある生活を応援します。

《スタッフケア理念》

1) 言葉遣い 2) 入居者の笑顔

*思いやりと尊敬の心を忘れず

あなたの心和む言葉で接します。

*あなたの思いを大切にし、共に笑い

あなたらしい生活を支援します。

【管理者部門】

- ・ 運営推進会議の開催(年6回)
- ・ 介護サービス情報の公表制度に伴う報告・公表により自らのサービス提供状況を再確認する。
- ・ 自己評価・外部評価の実施及び開示
- ・ 家族へのお便りの作成(月1回)
- ・ 火災通報訓練の実施6月・11月(夜間想定訓練)
- ・ 水害等自然災害に対する避難訓練の実施
- ・ スタッフ育成し、質の向上を図る。
- ・ 地域行事等へ参加し、地域交流の強化を図る。

【計画作成担当部門】

- ・ 利用者の心身の状況、希望やその置かれている環境を踏まえ、利用者・家族の要望に沿った介護計画書の作成
- ・ 要介護認定に関する業務（更新申請代行）
- ・ 介護サービス計画作成後、利用者・家族に対しての説明・同意・提供に関する記録の整理を徹底する。
- ・ サービス提供後の状態変化・実施状況を把握し必要に応じたプランの変更を行う。

【介護部門】

- ・ コロナ禍のため全員での外出が難しいなかで、一人ひとりの希望に沿った外出や活動を楽しめるよう支援する。
- ・ 自己評価・外部評価を行ない、スタッフ一人ひとりが振り返る機会を持ち理念に沿ったケアを目指す。
- ・ 一人ひとりの利用者の心身の状況に応じ、その人が有する能力を活かし自立した日常生活が営まれるように支援する。
- ・ 利用者がスタッフと共に食事や掃除・洗濯・行事を楽しみ安心して生活が送れるよう支援する。
- ・ 利用者一人ひとりの状態に応じたケアと知識・技術の向上を図る。
- ・ ケアプランに対する知識の向上（プラン作成に関わりサービス内容の検討）を行なう。
- ・ 地域への行事参加及び地域への開放的なホーム作りに努める。
- ・ 体力・自己免疫力の向上、環境整備による感染予防対策に努める。
- ・ スタッフ会議開催(月1回)
- ・ 担当利用者家族への近況報告(月1回)

令和5年度年間行事計画

グループホームあけぼの

月	行 事
4月	花見
5月	端午の節句・バラ園見学
6月	あじさい見学
7月	七夕飾り作り・そうめん流し
8月	昼食バイキング・盆団子作り
9月	敬老会・月見団子作り
10月	コスモス見学
11月	外部評価・紅葉見学
12月	忘年会・クリスマス会・餅つき
1月	新年会・初詣
2月	節分(豆まき)
3月	ひな祭り・ぼた餅作り

- * 誕生会
- * 自己評価・外部評価実施
- * 運営推進会議(4月・6月・8月・10月・12月・2月)
- * 避難通報訓練(6月・11月)
- * 自然災害時避難訓練(7月～9月)

令和5年度 グループホームあけぼの年間利用予測

	要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
4月	0	0	8	240	4	120	1	30	5	150			18	540
5月	0	0	8	248	4	124	1	31	5	155			18	558
6月	0	0	8	240	4	100	1	30	5	150			18	520
7月	0	0	8	228	4	114	1	31	5	140			18	513
8月	0	0	8	228	4	114	1	31	5	135			18	508
9月	0	0	8	240	4	120	1	30	5	150			18	540
10月	0	0	8	248	4	124	1	31	5	155			18	558
11月	0	0	8	240	4	120	1	30	5	140			18	530
12月	0	0	8	228	4	114	1	31	5	135			18	508
1月	0	0	9	250	3	93	1	31	5	145			18	519
2月	0	0	9	242	3	84	1	28	5	120			18	474
3月	0	0	9	269	3	93	1	31	5	155			18	548
合計		0		2901		1320		365		1730		0		6316

稼働率 96.1 %

令和5年度 グループホームあけぼの 利用予測

利用定員 18 人		年間利用実人員 20 人				
要介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計(人)
利用実人員	9	4	1	5	0	19
年間延べ人員	2901	1320	365	1730	0	6316
稼働率	年間延人員(6316) ÷ 6570 = 96.1 %					

家賃	年間延べ	214	ヶ月
光熱費	年間延べ	213	ヶ月

食事提供	朝食	昼食	夕食	合計(食数)
	6230	6200	6210	18640

令和5年度 行事・職員研修計画表

	特養行事	ユニット	グループホーム	施設管理	施設外研修	施設内研修	月例行事・その他
4月	家族会総会 (2回) 花見 故郷訪問 (芦北方前・内野)	花見 バーベキュー	花見	自家発電装置点検 (毎月) 電気設備点検 (毎月)			職員研修会 1 感染症・食中毒対策研修 (年2回) 2 身体拘束に関する研修 (年2回) 3 事故対策に関する研修 (年2回)
5月	鯉のぼり見学 バラ園見学	つつじ見学 故郷訪問	端午の節句 バラ園見学	屋上排水口清掃 苑周囲草刈 浄化槽清掃 冷暖房フィルター清掃		1.感染症・食中毒研修(委員会) 3.事故状況報告(委員会)	4 医療に関する教育・研修 5 認知症研修会 6 プライバシーに関する研修会 7 ターミナルケアに関する研修会
6月	運動会 故郷訪問 (竹中)	運動会 あじさい見学	あじさい見学 避難通報訓練	避難訓練訓練 (地震・火災) 苑周囲草刈 冷房切り替え		9.非常災害時の研修 (土砂災害、風水害、地震) 災害避難訓練(土砂災害) 通報避難訓練(火災)	8 倫理及び法令遵守に関する研修 9 非常災害時における研修 10 従業員の施設サービス研修 11 マニュアルの見直し検討会議
7月	ソーメン流し 七夕 故郷訪問 (平岡・辻)	七夕・屋台	七夕飾り付け そーめん流し	苑内ワックス処理 (7/16) 水質検査 (水道水) 貯水槽清掃		衛生委員会(委員会) (職員の健康管理について) 5.認知症研修 2.身体拘束研修(委員会)	各種委員会 ①労働衛生委員会 (奇数月第4水曜日) ②医療的ケア対策委員会 (4.7.10.1月第3日) ③感染対策委員会 (4.9.11.3月第2水曜日)
8月	ぶどう狩り 故郷訪問 (水俣)	ソーメン流し	昼食バイキング お盆団子作り 災害避難訓練	窓ガラス拭き 苑周囲草刈 屋上排水口清掃	ラジオ体操	11.マニュアルの見直し検討会議 (各部署において) 腰痛予防	④身体拘束防止委員会 (4.7.10.1月、第2水曜日) ⑤安全管理対策委員会 (4.7.10.1月) 第2水曜日 ⑥防災対策委員会 (5.11月) ⑦給食委員会 (5.8.11.2月)
9月	敬老会 コスモス見学 故郷訪問 (築竹・大津)	敬老会 おはぎ作り 花火大会	敬老会 月見団子作り	苑周囲草刈	コロナの現状	4.医療に関する研修 7.ターミナルケア研修(ユニット)	⑧広報委員会 (5.9.1月・第1火曜日) ⑨環境美化委員会 (4.8.11.3月第2水曜日) ⑩地域貢献活動委員会 (4.8.1月) ⑪研修委員会 (4月)
10月	故郷訪問 (高崎・小幡) バラ園見学 秋祭り	バーベキュー 故郷訪問	コスモス見学	冷暖房フィルター清掃 暖房切り替え		1.食中毒・感染症研修(ノロウイルス) インフルエンザ:感染委員会 取組み・事例発表会 (特養・デイ・GH・ユニット)	⑫入所検討委員会 (随時) 排泄委員会 毎月 (特養) 入浴委員会 毎月 (特養) 食事委員会 毎月 (特養)
11月	ふれあい祭り見学 やまいも会・紅葉見学	焼き芋会 紅葉見学 玉ねぎ作り	紅葉見学 外部評価 避難通報訓練	屋上排水口清掃	園遊会等に対して 各事業所に対策 提出	5.認知症研修(委員会内で内容検討) 2.身体拘束研修(事例:委員会) 防災訓練:夜間想定 (避難・通報)	接遇委員会 (8.3月 特養) 会議 ・職員会議 (毎月第4金曜日) ・ケア会議、モニタリング (特:毎月25日) ・ユニット会議、リーダー会議 (毎月23日) ・各ユニットミーティング (毎月) ・誕生会 毎月第4日曜日 ・体重測定 毎月第2水曜日 ・インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン予防接種 災害避難訓練:6月 火災避難通報訓練:6月、11月(夜間想定) 通報訓練:3月(夜間)
12月	忘年会&Xmas 門松作り 餅つき	Xmas&誕生会 門松作り 餅つき	忘年会 クリスマス会 餅つき	大掃除・窓ガラス拭き			(健康診断) 入居者 8月予定 (胸部XP・採血他) 全職員 8月予定 (胸部XP・採血他) (腰痛検査)
1月	初詣 新年会 どんどや	よらかな神社 新年会 どんどや	新年会・初詣			6.プライバシー研修(特養) 3.倫理及び法令遵守研修 3.事故事例検討(委員会) 熊本県福祉施設研究大会報告	通報訓練:3月(夜間)
2月	節分	節分 梅見ながら焼き芋茶話会	節分(豆まき)	屋上排水口清掃 非常用放送設備点検 消防用設備点検			
3月	ひな祭り 故郷訪問 (古中尾)	ひな祭り おはぎ作り 故郷訪問	ひな祭り ぼた餅作り	夜間通報訓練(大雨警報発生)		10.従業員の施設サービス研修(施設長) 各部署より次年度方針・事業計画 夜間通報訓練	介護職員3月・2月 グループホーム 運営推進会議 (4.6.8.10.12.2月) 避難通報消火訓練 (6月・11月) 自然災害時避難訓練 (7月~9月)